



令和2年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

令和2年5月11日

上場会社名 株式会社 御園座 上場取引所 名
 コード番号 9664 URL http://www.misonoza.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮崎敏明
 問合せ先責任者 (役職名)取締役総務経理部長 (氏名)増井敏樹 (TEL) (052) 222-8202
 定時株主総会開催予定日 令和2年6月25日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 令和2年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年3月期の業績(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|--------|-------|-------|------|---|------|---|-------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2年3月期 | 2,966 | △41.3 | △247 | — | △276 | — | △301 | — |
| 31年3月期 | 5,052 | — | 528 | — | 513 | — | 452 | — |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|--------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2年3月期 | 60 49 | — | △6.3 | △3.9 | △8.3 |
| 31年3月期 | 90 95 | — | 9.2 | 6.8 | 10.5 |

(参考) 持分法投資損益 2年3月期 -百万円 31年3月期 -百万円

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2年3月期 | 6,994 | 4,633 | 66.2 | 930 55 |
| 31年3月期 | 7,605 | 4,938 | 64.9 | 991 68 |

(参考) 自己資本 2年3月期 4,633百万円 31年3月期 4,938百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|--------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2年3月期 | △99 | △17 | △204 | 884 |
| 31年3月期 | 969 | △189 | △204 | 1,205 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 | 純資産 配当率 |
|-----------|--------|--------|--------|------|------|---------------|------|------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 31年3月期 | — | — | — | 0 00 | 0 00 | 0 | — | 0 00 |
| 2年3月期 | — | — | — | 0 00 | 0 00 | 0 | — | 0 00 |
| 3年3月期(予想) | — | — | — | 0 00 | 0 00 | | — | |

3. 令和3年3月期の業績予想(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

令和3年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現時点において合理的に算定することが困難なことから、業績予想は未定とさせていただきます。なお、業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-------|------------|--------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2年3月期 | 4,984,500株 | 31年3月期 | 4,984,500株 |
| ② 期末自己株式数 | 2年3月期 | 5,124株 | 31年3月期 | 5,074株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2年3月期 | 4,979,384株 | 31年3月期 | 4,979,479株 |

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|-----------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 3 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 貸借対照表 | 5 |
| (2) 損益計算書 | 7 |
| (3) 株主資本等変動計算書 | 8 |
| (4) キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| (5) 財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 11 |
| (セグメント情報等) | 11 |
| (持分法損益等) | 11 |
| (1株当たり情報) | 11 |
| (重要な後発事象) | 11 |
| 4. その他 | 12 |
| (1) 役員の異動 | 12 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、令和2年1月までの間は、概ね、好調な企業収益を背景に雇用・所得環境の改善が続かなかで、個人消費も持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、2月以降、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が世界規模で急激に拡大した影響を受け、3月の景気は、大幅に下押しされ、厳しい状況となりました。先行きについては、更なる感染拡大による影響が懸念されております。

当社におきましては、平成30年4月の新劇場開場から2年目となり、4月には「陽春花形歌舞伎」が行われました。また、5月には「ミュージカル 笑う男」、「雪まろげ」、「水森かおり特別公演」、「石川さゆりコンサート2019」、6月には「ミュージカル レ・ミゼラブル」、「ファンタスティックライブ2019」、7月には「前川清特別公演 杜このみ特別出演」、「夏休み！！吉本新喜劇&バラエティ公演」、8月には「音楽劇 トムとジェリー 夢よもう一度」、「ブロードウェイミュージカル ピーターパン」、「志村けん一座 第14回志村魂～一姫二太郎三かぼちゃ～」、「ブラックorホワイト？ あなたの上司、訴えます！」、9月には「坂東玉三郎 御園座特別舞踊公演」、「きん枝改メ 四代 桂小文枝 襲名披露公演」、「天童よしみコンサート2019」、「蘭RAN」、「九月新派公演」、10月には「第五十回記念 吉例顔見世」、「ストーリー・オブ・マイ・ライフ」、11月には「渦が森団地の眠れない子たち」、「細川たかし特別公演 ダチョウ倶楽部一座旗揚げ公演」、「虎者-NINJAPAN-」、「組曲虐殺」、12月には「よしもと爆笑公演」、「ダンス オブ ヴァンパイア」、「加藤登紀子ほろ酔いコンサート2019」が行われました。

また、令和2年1月には「坂東玉三郎 御園座新春特別舞踊公演」、「梅沢富美男劇団&研ナオコ 新春特別公演」、「市川海老蔵特別公演」、2月には「宝塚歌劇月組公演」、3月には「吉幾三特別公演」、「キム・ヨンジャコンサート2020」を行う計画でした。

令和元年11月8日に公表した令和2年3月期業績予想において、営業損失2億4千万円を予想いたしましたが、令和2年1月以降に行われた公演が当初の想定を大きく上回る好調な結果を残し、「坂東玉三郎 御園座新春特別舞踊公演」、「梅沢富美男劇団&研ナオコ 新春特別公演」、「市川海老蔵特別公演」の合計で、令和元年11月8日に想定していた収益の前提よりも7千9百万円の大幅な超過達成を計上できました。そのままの状況が続けば、令和2年3月期業績予想の上方修正も視野に入れられる状況でした。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を背景として、2月26日、新型コロナウイルス感染症対策本部の会合で、政府より、今後2週間全国的なスポーツや文化イベントの中止や延期、規模縮小を要請されたことから、2月27日、「宝塚歌劇月組公演」の2月29日から3月4日まで予定していた8公演の中止を発表いたしました。

「吉幾三特別公演」につきましては、3月9日から3月22日まで公演は実施いたしましたが、予定されていた19回の公演のうち、公演期間中の貸切公演のうち10公演が中止となったため、上演したのは9公演にとどまりました。

「キム・ヨンジャコンサート2020」につきましては、3月5日、政府が中国と韓国からの入国者に指定場所での2週間の待機などを要請する方針を表明し、当該措置が3月9日から発動されたことから、キム・ヨンジャの来日が事実上不可能となり、3月11日、延期を発表いたしました。

以上の通り、「宝塚歌劇月組公演」、「吉幾三特別公演」、「キム・ヨンジャコンサート2020」の3公演に、新型コロナウイルス感染症による収益への大きな影響が発生いたしました。3公演合計で9千8百万円の利益下押しとなる影響があり、これは、上記の1月以降の収益大幅超過達成を打ち消すような影響となりました。

前事業年度においては、平成30年4月の新劇場開場を受け、4月には、松本幸四郎改め二代目松本白鸚、市川染五郎改め十代目松本幸四郎の襲名披露となる柿落し公演「柿茸落四月大歌舞伎」、5月には「スーパー歌舞伎Ⅱ ワンピース」、6月には「滝沢歌舞伎2018」と、ほぼ1ヶ月間連続で行う公演が3ヶ月連続で行われたことを主因に、前事業年度の当社主催公演回数は415回でしたが、当事業年度の当社主催公演回数は339回（前期比△18.3%）となりました。なお、この当事業年度の当社主催公演回数について、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった19公演は除いております。

この結果、当事業年度の業績は、売上高29億6千6百万円（前期比△41.3%）となりました。

売上高の減少を反映し、利益面では、営業損失2億4千7百万円（前期は営業利益5億2千8百万円）、経常損失2億7千6百万円（前期は経常利益5億1千3百万円）、当期純損失3億1百万円（前期は当期純利益4億5千

2百万円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

当事業年度末における流動資産の残高は、11億4百万円となり、前事業年度末に比べ3億7千2百万円の減少となりました。この主な要因は、未収消費税等が4千4百万円、未収還付法人税等が3千3百万円増加したものの、現金及び預金が3億2千1百万円、売掛金が1億2千9百万円減少したことによるものであります。固定資産の残高は、58億9千万円となり、前事業年度末に比べ2億3千7百万円の減少となりました。この主な要因は、減価償却等により、建物が1億1千9百万円、機械及び装置が7千7百万円、工具、器具及び備品が2千5百万円それぞれ減少したことによるものであります。この結果、総資産は、69億9千4百万円となり、前事業年度末に比べ6億1千万円の減少となりました。

(負債の部)

当事業年度末における流動負債の残高は、6億3千8百万円となり、前事業年度末に比べ1億1千2百万円の減少となりました。この主な要因は、買掛金が1億3千1百万円、預り金が4千6百万円増加したものの、未払法人税等が1億4百万円、未払消費税等が7千8百万円、未払金が6千6百万円、前受金が4千4百万円減少したことによるものであります。固定負債の残高は、17億2千2百万円となり、前事業年度末に比べ1億9千3百万円減少しました。この主な要因は、長期借入金が2億円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、23億6千万円となり、前事業年度末に比べ3億6百万円の減少となりました。

(純資産の部)

当事業年度末における純資産の残高は、46億3千3百万円となり、前事業年度末に比べ3億4百万円の減少となりました。この主な要因は、利益剰余金が3億1百万円減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物は、前年同期と比べ3億2千1百万円減少し、8億8千4百万円となりました。

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動によるキャッシュ・フローは、9千9百万円の支出(前期は9億6千9百万円の収入)となりました。これは主に、税引前当期純損失2億7千5百万円、減価償却費2億5千万円、仕入債務の増加1億3千1百万円、売上債権の減少1億2千9百万円、法人税等の支払1億2千7百万円、未払又は未収消費税等の増減1億2千2百万円によるものであります。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動によるキャッシュ・フローは、1千7百万円の支出(前期は1億8千9百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1千6百万円によるものであります。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億4百万円の支出(前期は2億4百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出2億円によるものであります。

(4) 今後の見通し

令和3年3月期は、平成30年4月の新劇場開場から3年目となります。

令和2年3月期は「挑戦の1年」として、従来から御園座の強みであり、お客様に馴染みの深い歌舞伎、座長公演、お笑いの各公演のほか、新劇場になってから上演を開始したミュージカル、宝塚歌劇、ジャニーズの公演など、新たなブランド作りに努めてまいりました。令和3年3月期もその流れを継続し、引続き「挑戦の1年」を進めて

まいる予定で考えておりました。

ところが、新型コロナウイルス感染症の世界規模での拡大、4月7日に政府が東京都など7都府県に対し緊急事態宣言を発令したこと、4月10日に愛知県が緊急事態宣言を発令したこと、4月16日には政府による緊急事態宣言発令対象を47都道府県に拡大したことなどにより、当社のみならず、興行業界全体に大きな影響が及ぼされております。

御園座における経営環境は、令和2年2月下旬以降3月末日までの状況から更に厳しくなっており、令和3年3月期において、令和2年4月から7月上旬までに上演することを予定していた公演のうち、以下の通り、大半にあたる15種類、上演日数として61日間、上演回数として86回の公演が中止となりました。この中には、例年4月に上演している歌舞伎公演、5月に短期公演を連続して行いコンサートシリーズとして銘打った公演群、発売後即完売した6月のミュージカル公演が含まれております。

<令和2年4月から7月上旬までの公演のうち当初上演を予定していたが中止となったもの>

| 公演名 | 上演予定期間 | 上演予定日数 | 上演予定回数 |
|---------------------------------|------------|--------|--------|
| 新作歌舞伎「NARUTO-ナルト-」 | 4月4日～26日 | 23 | 34 |
| ミュージカル モダン・ミラー | 4月29日～5月1日 | 3 | 4 |
| きやりーばみゅばみゅ かまいたちTOUR2020 | 5月6日 | 1 | 2 |
| タクフェス春のコメディ祭 | 5月9日～10日 | 1 | 3 |
| 鳥羽一郎 山川豊 熱唱！兄弟コンサート | 5月13日 | 1 | 1 |
| 由紀さおり50年記念コンサート | 5月14日 | 1 | 1 |
| 宇崎竜童弾き語りライブ | 5月15日 | 1 | 1 |
| コロッケPRESENTS ものまねエンターテインメントSHOW | 5月16日 | 1 | 2 |
| 中村美律子コンサート2020 | 5月17日 | 1 | 1 |
| 松竹芸能お笑い披露名古屋公演 松竹芸人大集合スペシャル | 5月18日 | 1 | 1 |
| 純烈三大劇場コンサート2020 | 5月21日 | 1 | 2 |
| オール阪神・巨人45周年記念特別公演 | 5月23日～24日 | 2 | 3 |
| ザ・ニューズペーパー特別公演 VOL.2 | 5月31日 | 1 | 1 |
| ミュージカル エリザベート | 6月10日～28日 | 19 | 25 |
| 彩の国シェイクスピア・シリーズ第36弾 ジョン王 | 7月3日～6日 | 4 | 5 |
| 合計 | | 61 | 86 |

(注) 上記には、令和3年3月期中に別途公演を行う「延期」となる可能性があるものが含まれています。

現時点では、上記以外の公演は上演する予定ですが、新型コロナウイルス感染症の影響等さまざまな理由から、中止となる公演が発生したり、集客が当社の想定に達しない可能性があります。また、逆に新型コロナウイルス感染症が一定の収束を迎えた後、年度後半には、それまで買い控えをしていたお客様による反動や、令和2年3月以降の公演の観劇を予定していたお客様の振替により、当社の想定を上回る売上や利益の増加が発生する可能性もあります。

以上のような状況であり、現時点では業績予想の合理的な算定が困難であることから、令和3年3月期の業績予想につきましては未定とさせていただきます。今後、業績における影響が合理的に予想可能と判断した場合には速やかに公表させていただく所存であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、日本基準を適用しております。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成31年3月31日) | 当事業年度 (令和2年3月31日) |
|---------------|-----------------------|----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,205,846 | 884,205 |
| 売掛金 | 235,879 | 106,781 |
| 貯蔵品 | 2,327 | 1,881 |
| 前渡金 | 8,467 | 671 |
| 前払費用 | 12,761 | 15,407 |
| 未収還付法人税等 | - | 33,732 |
| 未収消費税等 | - | 44,336 |
| その他 | 12,774 | 18,072 |
| 貸倒引当金 | △889 | △739 |
| 流動資産合計 | 1,477,168 | 1,104,351 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 2,959,471 | 2,960,371 |
| 減価償却累計額 | △153,551 | △274,097 |
| 建物（純額） | 2,805,919 | 2,686,273 |
| 構築物 | 13,927 | 13,927 |
| 減価償却累計額 | △1,166 | △2,099 |
| 構築物（純額） | 12,761 | 11,828 |
| 機械及び装置 | 985,961 | 999,881 |
| 減価償却累計額 | △96,904 | △187,893 |
| 機械及び装置（純額） | 889,057 | 811,988 |
| 工具、器具及び備品 | 210,825 | 212,215 |
| 減価償却累計額 | △29,523 | △56,612 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 181,302 | 155,603 |
| 土地 | 2,124,656 | 2,124,656 |
| リース資産 | 8,100 | 8,100 |
| 減価償却累計額 | △1,349 | △2,507 |
| リース資産（純額） | 6,750 | 5,592 |
| 有形固定資産合計 | 6,020,447 | 5,795,942 |
| 無形固定資産 | | |
| 電話加入権 | 72 | 72 |
| ソフトウェア | 11,346 | 9,201 |
| リース資産 | 39,083 | 32,383 |
| 無形固定資産合計 | 50,502 | 41,657 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 38,291 | 35,247 |
| 長期前払費用 | 11,577 | 8,700 |
| 保険積立金 | 6,172 | 7,644 |
| その他 | 920 | 920 |
| 投資その他の資産合計 | 56,960 | 52,512 |
| 固定資産合計 | 6,127,910 | 5,890,112 |
| 資産合計 | 7,605,078 | 6,994,464 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成31年3月31日) | 当事業年度 (令和2年3月31日) |
|---------------|-----------------------|----------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 115,642 | 247,597 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 200,000 | 200,000 |
| リース債務 | 8,293 | 8,413 |
| 未払金 | 83,432 | 17,295 |
| 未払法人税等 | 104,212 | - |
| 未払消費税等 | 78,281 | - |
| 前受金 | 142,654 | 98,586 |
| 預り金 | 7,009 | 53,348 |
| 賞与引当金 | 7,500 | 5,400 |
| その他 | 4,417 | 8,026 |
| 流動負債合計 | 751,444 | 638,668 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,600,000 | 1,400,000 |
| リース債務 | 41,833 | 33,420 |
| 繰延税金負債 | 252,198 | 276,857 |
| 退職給付引当金 | 19,591 | 9,948 |
| その他 | 2,000 | 2,000 |
| 固定負債合計 | 1,915,622 | 1,722,226 |
| 負債合計 | 2,667,066 | 2,360,894 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,271,937 | 2,271,937 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 2,137,599 | 2,137,599 |
| その他資本剰余金 | 22 | 22 |
| 資本剰余金合計 | 2,137,621 | 2,137,621 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | 112,500 | 112,500 |
| その他利益剰余金 | | |
| 固定資産圧縮積立金 | 627,906 | 627,906 |
| 別途積立金 | 350,000 | 350,000 |
| 繰越利益剰余金 | △529,701 | △830,924 |
| 利益剰余金合計 | 560,704 | 259,481 |
| 自己株式 | △39,476 | △39,674 |
| 株主資本合計 | 4,930,787 | 4,629,366 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 7,223 | 4,203 |
| 評価・換算差額等合計 | 7,223 | 4,203 |
| 純資産合計 | 4,938,011 | 4,633,570 |
| 負債純資産合計 | 7,605,078 | 6,994,464 |

(2) 損益計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日) | 当事業年度 (自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日) |
|-----------------------|--|---------------------------------------|
| 売上高 | 5,052,250 | 2,966,255 |
| 売上原価 | 4,248,790 | 2,949,659 |
| 売上総利益 | 803,459 | 16,596 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 役員報酬 | 16,030 | 15,690 |
| 給料及び手当 | 58,837 | 56,868 |
| 賞与引当金繰入額 | 4,350 | 7,192 |
| 退職給付費用 | 1,645 | 460 |
| 減価償却費 | 713 | 1,126 |
| 租税公課 | 43,984 | 39,953 |
| 広告宣伝費 | 16,555 | 4,996 |
| 支払手数料 | 49,543 | 52,580 |
| その他 | 83,156 | 85,388 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 274,817 | 264,255 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 528,641 | △247,659 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1 | 1 |
| 受取配当金 | 1,573 | 1,467 |
| 保険返戻金 | 1,343 | - |
| 受取保険金 | 2,092 | - |
| その他 | 3,089 | 2,737 |
| 営業外収益合計 | 8,099 | 4,206 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 22,336 | 19,993 |
| 公演関連損失 | - | 10,560 |
| その他 | 958 | 2,249 |
| 営業外費用合計 | 23,295 | 32,804 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 513,445 | △276,257 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | - | 999 |
| 特別利益合計 | - | 999 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 636 | - |
| 特別損失合計 | 636 | - |
| 税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△) | 512,809 | △275,257 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 84,622 | 1,282 |
| 法人税等調整額 | △24,683 | 24,683 |
| 法人税等合計 | 59,938 | 25,965 |
| 当期純利益又は当期純損失(△) | 452,870 | △301,223 |

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | | | |
|---------------------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|----------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | | 利益剰余金 | | |
| | | 資本準備金 | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 | 利益準備金 | その他利益剰余金 | |
| | | | | | 固定資産圧縮積立金 | 別途積立金 | |
| 当期首残高 | 2,271,937 | 2,137,599 | 22 | 2,137,621 | 112,500 | 627,906 | 350,000 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 当期純利益又は当期純損失(△) | | | | | | | |
| 自己株式の取得 | | | | | | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | | | |
| 当期変動額合計 | - | - | - | - | - | - | - |
| 当期末残高 | 2,271,937 | 2,137,599 | 22 | 2,137,621 | 112,500 | 627,906 | 350,000 |

| | 株主資本 | | | | 評価・換算差額等 | | 純資産合計 |
|---------------------|----------|---------|---------|-----------|--------------|------------|-----------|
| | 利益剰余金 | | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券評価差額金 | 評価・換算差額等合計 | |
| | その他利益剰余金 | 利益剰余金合計 | | | | | |
| | 繰越利益剰余金 | | | | | | |
| 当期首残高 | △982,571 | 107,834 | △38,895 | 4,478,498 | 10,425 | 10,425 | 4,488,923 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 当期純利益又は当期純損失(△) | 452,870 | 452,870 | | 452,870 | | | 452,870 |
| 自己株式の取得 | | | △580 | △580 | | | △580 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | △3,201 | △3,201 | △3,201 |
| 当期変動額合計 | 452,870 | 452,870 | △580 | 452,289 | △3,201 | △3,201 | 449,087 |
| 当期末残高 | △529,701 | 560,704 | △39,476 | 4,930,787 | 7,223 | 7,223 | 4,938,011 |

当事業年度(自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | | | |
|---------------------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|----------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | | 利益剰余金 | | |
| | | 資本準備金 | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 | 利益準備金 | その他利益剰余金 | |
| | | | | | 固定資産圧縮積立金 | 別途積立金 | |
| 当期首残高 | 2,271,937 | 2,137,599 | 22 | 2,137,621 | 112,500 | 627,906 | 350,000 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 当期純利益又は当期純損失(△) | | | | | | | |
| 自己株式の取得 | | | | | | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | | | |
| 当期変動額合計 | - | - | - | - | - | - | - |
| 当期末残高 | 2,271,937 | 2,137,599 | 22 | 2,137,621 | 112,500 | 627,906 | 350,000 |

| | 株主資本 | | | | 評価・換算差額等 | | 純資産合計 |
|---------------------|----------|----------|---------|-----------|--------------|------------|-----------|
| | 利益剰余金 | | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券評価差額金 | 評価・換算差額等合計 | |
| | その他利益剰余金 | 利益剰余金合計 | | | | | |
| | 繰越利益剰余金 | | | | | | |
| 当期首残高 | △529,701 | 560,704 | △39,476 | 4,930,787 | 7,223 | 7,223 | 4,938,011 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 当期純利益又は当期純損失(△) | △301,223 | △301,223 | | △301,223 | | | △301,223 |
| 自己株式の取得 | | | △198 | △198 | | | △198 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | △3,019 | △3,019 | △3,019 |
| 当期変動額合計 | △301,223 | △301,223 | △198 | △301,421 | △3,019 | △3,019 | △304,441 |
| 当期末残高 | △830,924 | 259,481 | △39,674 | 4,629,366 | 4,203 | 4,203 | 4,633,570 |

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 平成30年 4月 1日 至 平成31年 3月 31日) | 当事業年度 (自 平成31年 4月 1日 至 令和 2年 3月 31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△) | 512,809 | △275,257 |
| 減価償却費 | 249,343 | 250,537 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △108 | △150 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 7,500 | △2,100 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | △3,969 | △9,642 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,574 | △1,469 |
| 支払利息 | 22,336 | 19,993 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | 636 | - |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | - | △999 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △174,542 | 129,098 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △399 | 445 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 115,642 | 131,954 |
| 前受金の増減額 (△は減少) | △132,865 | △44,067 |
| 預り金の増減額 (△は減少) | △62,356 | 46,339 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | 19,454 | △66,138 |
| 未払又は未収消費税等の増減額 | 412,883 | △122,618 |
| その他 | 25,367 | △9,500 |
| 小計 | 990,157 | 46,424 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,574 | 1,469 |
| 利息の支払額 | △22,287 | △20,116 |
| 法人税等の支払額 | - | △127,223 |
| 法人税等の還付額 | 339 | - |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 969,784 | △99,446 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △177,866 | △16,210 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △14,760 | △953 |
| 投資有価証券の売却による収入 | - | 1,000 |
| その他 | 2,997 | △1,702 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △189,629 | △17,865 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △200,000 | △200,000 |
| リース債務の返済による支出 | △4,065 | △4,131 |
| その他 | △582 | △196 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △204,647 | △204,328 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 575,507 | △321,640 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 630,338 | 1,205,846 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 1,205,846 | 884,205 |

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社は劇場事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

| | 前事業年度 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日) | 当事業年度 (自 平成31年4月1日 至 令和元年3月31日) |
|---------------------------|--|---------------------------------------|
| 1株当たり純資産額 | 991円68銭 | 930円55銭 |
| 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△) | 90円95銭 | △60円49銭 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

1 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前事業年度 (平成31年3月31日) | 当事業年度 (令和元年3月31日) |
|---------------------------------|-----------------------|----------------------|
| 純資産の部の合計額(千円) | 4,938,011 | 4,633,570 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る期末の純資産額(千円) | 4,938,011 | 4,633,570 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株) | 4,979 | 4,979 |

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前事業年度 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日) | 当事業年度 (自 平成31年4月1日 至 令和元年3月31日) |
|-----------------------------------|--|---------------------------------------|
| 当期純利益又は当期純損失(△)(千円) | 452,870 | △301,223 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る当期純利益又は普通株式に係る当期純損失(△)(千円) | 452,870 | △301,223 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 4,979 | 4,979 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

①その他の役員の変動（令和2年6月25日付）

(ア) 新任監査役候補

監査役（社外） 高橋 治朗（現 名港海運株式会社 代表取締役会長）

(イ) 退任予定監査役

監査役（社外） 平林 拓也 任満了に伴うもの